

## 編集経過

東洋大学は、井上円了が一八八七（明治二〇）年に哲学館を創設してから、一九八七（昭和六二）年に創立一〇〇周年を迎えた。創立一〇〇周年を記念する事業を企画・遂行するために、一九七九年四月に創立一〇〇周年記念事業委員会が発足した。記念事業の一環として、『東洋大学百年史』の編纂・刊行が企画され、先ず編纂の基本事項を審議する機関として、創立一〇〇年史編纂委員会が一九八二年七月に福鎌忠恕委員長を中心として発足した。続いて創立一〇〇年史編纂室が一九八三年四月に設置され、編纂業務に当たることとなった。

『東洋大学百年史』は、当初「通史編」Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと「資料編」の各一冊（一〇〇〇頁）、計四冊の刊行が計画され、その編纂のための基礎作業として、資料の収集・整理が編纂室を中心に開始された。

本学では、これまでに一九三七（昭和一二）年に『東洋大学創立五十年史』が、一九六七（昭和四二）年に『東洋大学八十年史』が刊行されている。これらを編纂するに当たって、多くの資料が収集・整理されたはずであるが、これらの収集資料は僅かにその一部が図書館の片隅に放置されたままで、ほとんどの資料は既に散逸し、一〇〇年史編纂に継承・利用することができない状況であった。一方、学内に保管されている文書資料は、昭和四〇年代以後のものが比較的にとまって保存されているのに対し、それ以前のものも少なく、特に戦前のもものは無に等しい状況であった。

このような資料状況のため、先ず学内・学外から資料を収集・整理する作業に着手することとなり、国立公文書館および東京都公文書館に保管されている本学関係文書資料の収集をはじめ、校友・関係者からの資料収集・聴き取り調査などが始められた。

編纂室の発足当初は、田中菊次郎編集長を中心に、宝月圭吾・吉田幸一両先生の助言をいただき、数名の職員と学生アルバイトによって作業が進められ、資料の収集・整理が重ねられるとともに、「東洋大学百年史年表稿」〔東洋大学史紀要〕2、一九八四年二月）も公刊された。田中編集長は一九八四年四月に急逝され、同年五月に斎藤繁雄編集長が就任し、数名の教員が編纂室員に兼務となって作業を継続することとなり、「通史編」の編纂に先立って、「資料編」の刊行をめざして取り組んだ。

創立一〇〇周年記念式典は一九八七年一〇月に挙行されることになり、それに向けて編纂室は『図録東洋大学一〇〇年』を刊行するとともに、創立一〇〇周年記念映画「百年からの出発―明日をめざす東洋大学―」の製作に協力した。創立一〇〇周年記念事業の大半を成し遂げた一九八八年七月に、編纂室は大幅に改組されることとなり、編集長は編纂室長と改められて再スタートした。その後、一九八九年二月に斎藤編纂室長が辞任、三月から田中健夫編纂室長が就任し、業務を継承することとなった。一方、福鎌忠恕編纂委員長は、一九八七年三月に定年退職し、上原邦雄編纂委員長がその後を継いだ。

『東洋大学百年史・資料編』は、当初一冊が予定されていたが、作業を進める中で、本学の資料を一九四九（昭和二四）年の新制大学発足を境とし、それ以前と以後の二期に分け、Ⅰ・Ⅱの二部構成とした。「資料編Ⅰ」は上・下二冊からなり、新制大学発足以前の本学関係の基本資料を一〇編に大別したうえで、それぞれの成立年次順に配列して収録した。

本編の特徴としては、本大学の沿革を跡づけるための基礎資料である許認可関係文書の収録に意を注いだ。

本編を編纂するに当たって、特に問題点として痛感したことは、第一点として、組織と人員の配置がしばしば変更され、編纂のための体制が必ずしも確立されていなかったこと。第二点として、資料の収集・整理作業と同時並行して、「資料編」を編纂していかなければならず、新たな資料が出てくると入稿後に追加・補充しなければ

ばならないこともしばしば起こるといったように、資料が十分に整備されていなかったことなどが指摘される。

このような問題点を抱えながらも、多くの方々のご協力を得て、「資料編Ⅰ」をようやく完成することができた。本編が、「通史編」の編纂に役立てられるばかりでなく、本大学史像構築の一助となることを期待したい。

編纂室は、「資料編」を編纂するための基礎作業として、収集資料を整理して『東洋大学史資料目録』一（一九八六年五月）、同二（一九八七年三月）を刊行した。さらに「資料編Ⅰ」を補うものとして、「哲学館事件新聞雑誌記事集成」（『東洋大学一〇〇年史資料集』第一集、一九九〇年刊行予定）の発刊を計画している。

「資料編Ⅰ」の担当は、編集に主として谷口房男・豊田徳子が当たり、制作に橋本襄爾が、校正に山内瑛一・中島宏・如沢亮子・村口智枝子および大学院生の尾崎晃・保科富士男・永用俊彦が当たった。また原稿化および資料のコピーなどの諸作業には、多くの学部生、特に杉山憲秀・高林良和・三阪徹の協力を得た。

本編に収録した貴重な資料をご提供いただいた学内外の諸機関ならびに関係諸氏にお礼を申し上げる。

一九八九年五月

東洋大学創立一〇〇年史編纂室